

観潮楼の逸品

The gem of Kanchoro

鷗外に愛されたものたち

2021年

4月3日(土)

6月27日(日)

開館時間 | 10時～18時(最終入館は17時30分)

休館日 | 4月27日(火)、5月25日(火)、

6月22日(火)

観覧料 | 一般500円(20名以上の団体:400円)

会場 | 文京区立森鷗外記念館

- ・中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料
- ・文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引き
- ・その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

会期中、展覧会関連事業として、講演会や展示解説の実施を予定しています。詳細は決まり次第、記念館HP等にてお知らせいたします。

▶<https://moriogai-kinenkan.jp>

〈ご来館にあたって〉

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ご来館の皆様様に安心してご観覧いただけるよう、必要な対策を講じて開館しています。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、展覧会や関連事業について変更が生じる可能性があります。

〈アクセス〉

●電車

東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分

東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分

都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分

JR線・京成線「日暮里」駅南口徒歩15分

●バス

都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分

都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分

Bーぐる千駄木・駒込ルート「18特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分

※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。



文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木 1-23-4

tel. 03-3824-5511

<https://moriogai-kinenkan.jp>

モリキネカフェ

10時30分～17時30分(ラストオーダー17時)

〔次回展示〕

コレクション展「生誕110年 森類(仮)」

7月2日(金)～10月3日(日) 予定

「父は元氣盛んな時代には家でも多く軍服で過し、身のまわりすべてキチンとしており、机上の書類、筆硯などその位置をくずした事はない。」
(森於菟『父親としての森鷗外』)

作品を執筆していたとき、陸軍省や帝室博物館に出勤する前、家族とくつろいでいたとき、鷗外を取り囲む風景の中には、数々の「もの」がありました。硯や筆洗などの文具。落款印などの印章類。それらが置かれた小机。鷗外や家族、訪問者を迎えた玄関の扁額や、客間を飾った書や絵画。家族で遊んだ双六など……。鷗外の身近にあった「もの」は、鷗外を一番近くで見守ってきたものたちです。そこには歴史があり、物語があります。

鷗外が時に購入し、時に譲り受けたこれらのものたちは、鷗外や家族が暮らした自邸・観潮楼(現・文京区立森鷗外記念館)にとつてかけがえのない逸品です。

本展では、当館で所蔵しているこれら観潮楼の逸品を展示します。明治、大正の文豪・鷗外に愛されたものたちを通して、洗練された意匠や精巧な細工を味わうと共に、それらを使用した鷗外の姿や、飾られていた観潮楼に思いを馳せてみてください。そこから物語が立ち上がっていくはずです。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

①宮芳平作《歌》②竹内栖鳳作《煤雀図》③脇机④灰皿⑤墨置⑥筆洗⑦手袋⑧西園寺公望書「才学識」⑨扁額「資和閣」表面/左上から葉巻切り、ジョッキ、鷗外自画素焼皿、瓢箪型水差、双六盤、印「観潮楼主」「森氏高湛」「曾在豊国」、御大礼恩賜銀杯、獅子型水差 ※会期中、一部展示替えがあります。